



平成 22 年度

福井県立武生高等学校

同窓会総会

日 時 平成 22 年 5 月 22 日(土) 午後 2 時
(総会・特別企画 パーティー・懇親会)

場 所 武生パレスホテル 平安の間

沿 革

(旧制 県立武生中学校)

明治31年3月1日 福井県武生尋常中学校を創設
 明治34年6月12日 福井県立武生中学校と改称

(旧制 県立武生高等女学校)

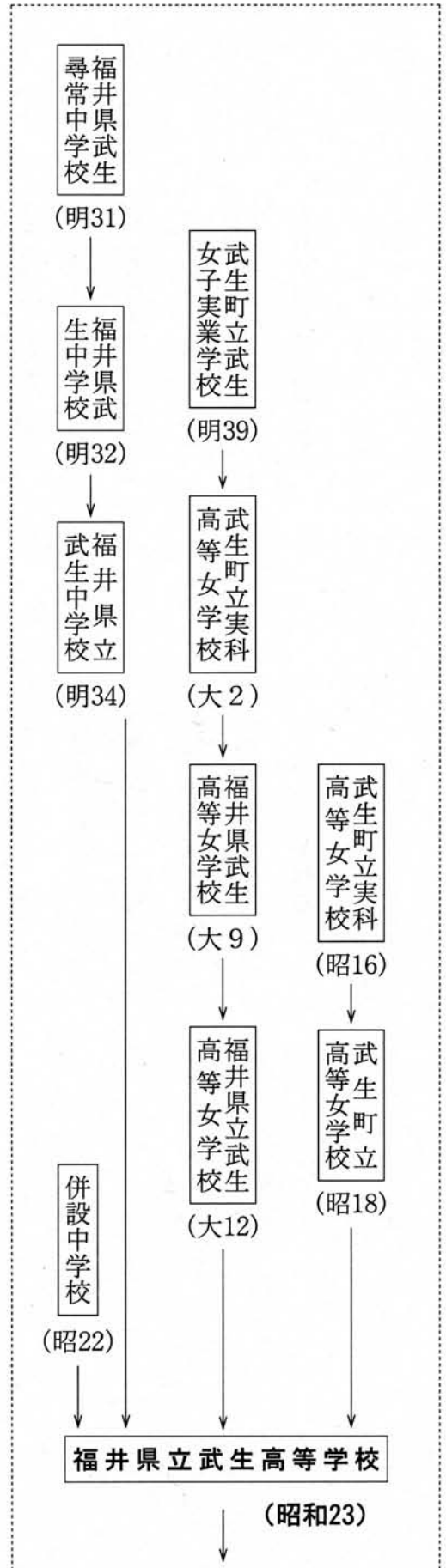
明治39年6月9日 武生町立武生女子実業学校創設
 大正2年2月27日 武生町立実科高等女学校と改称
 大正9年3月10日 福井県武生高等女学校と改称
 大正12年4月1日 福井県立武生高等女学校と改称

(旧制 町立武生高等女学校)

昭和16年4月21日 武生町立実科高等女学校認可
 昭和18年4月1日 福井県武生町立高等女学校と改称

(福井県立武生高等学校)

昭和23年4月1日 学制改革により福井県立武生中学校、福井県立武生高等女学校、福井県武生町立高等女学校を統合し、福井県立武生高等学校に改組し、普通・家庭・商業・工業の4課程を設定
 定時制(本校・池田分校・今庄分校および栗田部分校)を併設
 昭和30年4月1日 新校舎第1期工事完成、現在地に移転
 昭和34年4月1日 工業課程は武生工業高等学校として分離独立
 昭和35年11月1日 新校舎工事完成、落成式挙行
 昭和38年5月8日 プール開き挙行
 昭和40年4月1日 武生商業高等学校新設に伴い商業科募集停止
 昭和40年4月1日 定時制池田分校は全日制池田分校となる
 昭和40年5月30日 第二体育館落成式挙行
 昭和42年10月30日 生徒指導実験学校研究発表会を行う
 昭和43年11月1日 創立70周年記念式を行う
 昭和44年4月1日 理数科設置
 昭和44年7月19日 創立70周年記念館落成式
 昭和53年11月1日 創立80周年記念式を行う
 昭和55年12月23日 普通教棟改築、鉄筋校舎完成
 昭和57年11月24日 特別教棟改築、鉄筋校舎完成
 昭和59年3月31日 音楽教棟完成
 平成3年3月31日 本館・第1体育館リフレッシュ工事、正門並びにシンボル・ガーデン完成
 平成4年1月31日 定時制教棟改築着工
 平成4年10月31日 定時制教棟完成
 平成5年3月20日 弓道場完成
 平成5年12月27日 第2体育館リフレッシュ工事完成
 平成7年4月1日 定時制課程単位制設置
 平成10年11月1日 創立100周年記念式を行う
 平成10年11月6日 葵講堂完成
 平成12年3月31日 生徒会館(記念会館)リフレッシュ工事完成
 平成15年2月10日 第1教棟耐震補強工事完成、並びに第1体育館改築着工
 平成15年10月31日 第1体育館完成
 平成17年1月31日 第2体育館改築着工
 平成18年2月24日 第2体育館完成



武生中学校校歌

作詞 堀井 磊

一、越智の高嶺の彼方には

波幾千里日本海

巽の空に仰ぎ見る

御嶽の山は巍峨として

その秀嶺の影ひたす

日野の流れの清きかな

三、栄ある歴史偲びつゝ

紫明の天地ながめつゝ

心武生の学舎に

知徳をみかく五春秋

朝日とのぼる向上の

誰百難に屈せむや

五、嗚呼東海に覇を唱ふ

国をになはむ任重く

母校の誉世の光

かゞやかすべき南越の

健児はわれぞ芳ばしく

咲かむ万朶の山桜

二、星霜経りし国府の跡

功は高き藤垣や

三つの川水治めけむ

君味真野の宮所

杣山松を吹く風は

忠義にはやる矢叫びか

四、赤帝焰を息吹く時

熱球宙を飛ぶところ

朔風雪をふぶく時

竹刀火花の散るところ

血潮はわきて青春の

男児の腕高鳴れる

武生高等女学校校歌

御歌所寄人 鳥野幸次先生校閲

作詞 清水政之

一、男大迹の皇子のおはしけむ
ゆかりたふとき道の口

武生の国府と名に立ちて
文化の花も先づ咲きし

昔の跡に開けたる

まなびの園の名もよしや

二、忠義に燃ゆる柚山の

紅葉の色をかざしにて

越前富士に積む雪の

清きを己が心にて

日野の川波絶えずのみ

勉め励まんいざやいざ

三、後の宮の詠みましし

御歌の意かしこみて

人の中にもをみなたる

道の誠をみがきつつ

家を身をもとのへて

千代の鏡と仰がれむ

福井県立武生高等学校校歌

作詞 佐藤春夫

作曲 大中寅二

一、都に遠く雲閉す

日野の盆地と云ふ勿れ

山河穢れず人怜く

若人の夢みな清し

二、武生の国府とうたはれし

代々の文化のあとを見よ

史上に残る名に富むを

郷土のほまれ誰か継ぐ

三、味真野の子や丹生の子の

学びに集ふ二千人

校舎あかるく庭ひろく

朋友師弟 睦しき

四、いかにか生くと人間はば

我は明朗自律の児

まことを求め道に生き

世に尽さんと答へまし



ご挨拶

同窓会会長 三田村 俊 文

新緑の候、武生高等学校同窓会の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

本日は、平成22年度同窓会総会のご案内を申し上げましたところ、ご多忙の中、多数の皆様のご出席を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、本年度の総会開催にあたりましては、実行委員長三村昌之様をはじめ昭和48年卒業の方々を中心に関係各位のご尽力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、国内経済は期待された景気回復には程遠く、特に地方におきましては雇用環境が悪化するなど厳しい年となりました。また、学校関係では世界的な新型インフルエンザの流行により、学校閉鎖や学年・学級閉鎖が相次ぎ先行きの不安を増大させました。今年こそ見通し明るい一年となるよう期待しているところです。

そのような中で、21年度の同窓会事業につきましては、おかげさまで順調に運営することができ、また、各支部におかれましても、支部総会、懇談会を通じて交友を深められ、積極的にご活動いただいております。皆様には、日頃より同窓会活動の推進にあたり格別のご支援・ご協力をいただいておりますことに、あらためて感謝申し上げる次第です。

ところで、昨年、相撲界で引退に追いやられた朝青龍の「品格」について、大きくクローズアップされました。朝青龍は度々土俵の内外で事件を起こし、「品格」を問われ続けてきたわけですが、最後まで「強ければいい、土俵の上で結果を出せば文句はいわせない」という価値観を捨て切れなかったことが、今回の引退にまでつながったのだと言われています。外国からスカウトされて日本に来た力士に対して、日本の国技としての相撲を理解させられなかった師匠や周囲の責任も大きかったと思いますが、この残念な引退劇を教訓にして、力士ひとりひとりが地位に相応しい品格を磨くことを期待するものです。これは、相撲界だけのことでなく、一般社会の場においても全く同じであり、私たちも、立場に応じた言動や節度ある行動をとり「品格」のある人間になるよう努めていかなければなりません。

どうぞ、県内屈指の進学校を誇るわが母校におきましても、これからも県内の教育界をリードし、社会を先導するにふさわしい生徒の育成をお願いしたいと存じます。同窓会といたしましても、各事業活動を通じて、母校の教育向上のためにできる限りの協力をしていきたいと存じますので、今後とも皆様のご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、母校武生高等学校の限りないご発展と、同窓会会員皆様のますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げましてご挨拶とさせていただきます。



ご 挨拶

学 校 長 川 村 一 実

本日、平成22年度武生高等学校同窓会総会が盛大に開催されますこと、心からお祝い申し上げます。日頃は三田村会長様をはじめ、役員・理事の方々、さらには同窓会員の皆様方には、本校教育の充実・発展のために多大なるご支援、ご配慮を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年6月19日に、「平成21年度 先輩と語ろう会」が開催されました。武生高校出身の10人の先輩を講師としてお招きし、1年生を対象として、現在の職業についての経緯や仕事の魅力、その仕事に求められる力や適性などについて、10の会場に分かれお話をさせていただきました。生徒にとっては、社会の各分野で働く先輩方から話を直接聞くことができ、自分の将来の進路を考える上で、また文系・理系各コースの適正な選択をする上でも、極めて有意義な2時間だったと思います。

本校出身の先輩方から直接、話をお聞きすることができるというのは、長い歴史と伝統を持つ武生高校ならではの大きな財産だと思います。生徒に対しこのような機会を提供してくださった同窓会の皆様に改めて深く感謝申し上げますとともに、今後とも、この「先輩と語ろう会」をぜひとも続けていただきたいと願っています。

このような同窓会の皆様のご指導・ご支援を受けながら、生徒たちは日々学習に熱心に取り組み、着実に成果を上げています。

進学面では、東京大1名、京都大6名、金沢大35名、福井大55名など、239名の生徒が現役で国公立大学に合格しました。また、私立大学にも、早稲田大14名、慶応大2名をはじめとし、数多くの生徒が現役で合格しました。

また、部活動面での活躍もめざましく、昨年8月盛岡市で開催された全国高等学校短歌大会（短歌甲子園）では、本校文芸部が団体の部で見事全国優勝を成し遂げました。運動部でも、男女ソフトテニス部、女子フェンシング部、女子柔道部、なぎなた部が、それぞれ県予選を勝ち抜いてインターハイ出場を果たしました。

次に今年指定3年目を迎えたスーパー・サイエンス・ハイスクール（SSH）の取り組みについてですが、昨年度は2年生での取り組みとして、1年間かけて一つのテーマに取り組んでいく課題研究や、環境先進国ドイツで同国の環境対策技術や政策について学ぶ海外研修などを実施しました。これらの取り組みを通して、生徒の中に確実に未来の科学者としての芽が育ってきていることを実感しています。

最後になりましたが、本年度総会のお世話をいただきました昭和48年卒業の皆様のご尽力に対しまして心から敬意を表しますとともに、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。同窓会の益々のご発展と、会員の皆様のいっそうのご健勝、ご多幸をお祈りいたしましてご挨拶といたします。

平成 22 年度 武生高等学校同窓会総会日程

14:00～14:45

総 会 (於: 3階 平安の間)

- 1 開会のことば 実行委員長 三 村 昌 之
- 2 物故者に対する黙とう
- 3 同窓会会長挨拶 三田村 俊 文 氏
- 4 学校長挨拶 川 村 一 実 氏
- 5 議 事
 - (1) 平成 21 年度事業報告
 - (2) 平成 21 年度決算報告
平成 21 年度会計監査報告
 - (3) 役員改選
 - (4) 平成 22 年度事業計画案審議
 - (5) 平成 22 年度予算案審議
 - (6) その他
- 6 報 告 事 項
 - (1) 事務局連絡
- 7 閉会のことば 副実行委員長 齋 藤 真理子

15:00～15:45

総会特別企画

(於: 3階 平安の間)

■講演『方言再発見! 一福井弁の魅力と謎にせまる一』

加藤和夫氏(昭和48年卒、金沢大学人間社会学域教授)

16:00～18:00

武生高等学校吹奏楽部演奏

パーティー・懇親会

(於: 3階 鳳凰の間)

1 開会のことば

2 実行委員長挨拶 三村昌之

3 同窓会副会長挨拶 三田村久治氏

4 乾杯

5 松原正樹スペシャルバンド演奏

6 万歳三唱

7 謝辞 副実行委員長 白崎弘康

8 閉会のことば

平成21年度 事業報告

平成21年

- | | |
|-----------|-----------------|
| 4月13日(月) | 会計監査 |
| 4月23日(木) | 同窓会総会実行委員会 |
| 4月24日(金) | 第1回同窓会理事会及び懇親会 |
| 5月15日(金) | 同窓会総会実行委員会 |
| 5月23日(土) | 平成21年度同窓会総会 |
| 6月19日(金) | 「先輩と語ろう会」 |
| 7月17日(金) | 同窓会総会実行委員会引き継ぎ会 |
| 8月 1日(土) | 第42回松柳会総会 |
| 10月23日(金) | 第2回同窓会理事会及び懇親会 |

平成22年

- | | |
|----------|----------------|
| 3月 3日(水) | 本校卒業式、同窓会入会式 |
| 4日(木) | 定時制卒業式、同窓会入会式 |
| 5日(金) | 池田分校卒業式、同窓会入会式 |

各支部	関西支部総会	9月26日(土)
-----	--------	----------

平成21年度 先輩と語ろう会

6月19日（金）に「平成21年度先輩と語ろう会」が本校の第1学年対象に催されました。

社会人として各分野で活躍されている本校卒業生の諸先輩方のお話をうかがうことを通して、生徒の進路意識を高め、文系・理系各コースの選択の一助になることを目的として実施されました。

現在の職務の内容や、どのようにすればその仕事につけるのか、また、その仕事に求められる適性など、生徒たちが進路を決定していく上で非常に参考になる点について、講師の方々の豊富な経験をふまえながらアドバイスをいただきました。

生徒たちはどの講座においても大変興味をもった様子で、中には先輩方の仕事ぶり、生き様に共感し、これからの人生の指針の一つにと感じた生徒もいたようです。

今回ご協力いただいた同窓生の皆様は以下の通りです。

「平成21年度先輩と語ろう会」講師の紹介 （ ）は卒業年です。

- | | |
|---------|--------------------------------|
| 笠原 章 氏 | (医)一麦会 東武内科外科クリニック院長 (S 45) |
| 渡辺 栄 氏 | アイビーソリューション株式会社社長 (S 47) |
| 岩崎 保 氏 | 福井テレビジョン放送株式会社制作局局長 (S 48) |
| 吉田 俊之 氏 | 福井大学大学院工学研究科情報メディア専攻教授 (S 57) |
| 渡辺 統 氏 | 株式会社福井銀行本店経営企画チームサブリーダー (S 58) |
| 森中 裕信 氏 | セムイ調剤薬局 (S 59) |
| 橋本 達昌 氏 | 社会福祉法人越前自立支援協会事務局長 (S 60) |
| 鉾碕 直文 氏 | 福井県社会福祉協議会 (H 2) |
| 柏崎 健 氏 | 柏崎モータース自営 (H 4) |
| 藤井 宏澄 氏 | 日本公認会計士協会北陸部会福井県部会員 (H 7) |

平成 21 年度 武生高等学校同窓会 収支決算書

(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

一般会計

【 収 入 】

単位：円

項 目	21 年度予算	21 年度決算	比較増減	備 考
繰越金	841,538	841,538	0	
入会金	1,227,000	1,215,000	△ 12,000	全日355、分校18、定時制32(1名3,000円)
雑収入	5,000	19,723	14,723	お酒代、預金利息
寄付金		200,000	200,000	S47年実行委員会より
合 計	2,073,538	2,276,261	202,723	

【 支 出 】

項 目	21 年度予算	21 年度決算	比較増減	備 考
会議費	100,000	97,407	2,593	理事会(4月、10月)
旅 費	130,000	119,080	10,920	旅費、懇親会等(関西)、支部来福旅費
消耗品費	5,000	2,518	2,482	金封、事務用品
通信費	80,000	91,703	△ 11,703	電話料、郵送料、HP年間管理料、ウイルスバスター
慶弔費	20,000	1,690	18,310	弔電代
事務費	20,000	20,000	0	事務手当
支部補助費	306,000	290,000	16,000	関西10万、関東5万、松柳会10万、石川15,000円、池田9,000円、定時16,000円
母校振興費	100,000	91,967	8,033	武高PR用パンフレット等
積立金	600,000	600,000	0	特別会計(定期預金)へ
予備費	712,538	50,000	662,538	記念会館補助
合 計	2,073,538	1,364,365	709,173	

平成 21 年度 収入合計 2,276,261 円

平成 21 年度 支出合計 1,364,365 円

平成 22 年度への繰越金 911,896 円


同窓会資産


単位：円

一 般 会 計	普通預金	911,896
特 別 会 計	定期預金	12,379,730
同 窓 会 会 報 会 計		3,558,053
合 計		16,849,679

会計収支監査の結果、諸帳簿及び証拠書類等は、適正に処理されていることを認めます

平成 22 年 4 月 14 日

監事 河嶋 和子 

監事 鎌谷 慶昭 

平成 21 年度 武生高等学校同窓会 会報特別会計収支決算書

(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

単位：円

収入の部	金額	備考
前年度繰越金	3,328,528	
平成 21 年度本校卒業生	532,500	1,500 円× 355 人
新規購読	3,000	1,500 円× 2 人
合計	3,864,028	

支出の部	金額	備考
会報発行費	305,975	国府印刷 108,864 円 サラト 197,111 円
合計	305,975	

平成 21 年度 収入合計	3,864,028 円
平成 21 年度 支出合計	305,975 円
平成 22 年度への繰越金	3,558,053 円

平成 22 年度武生高等学校同窓会 役員・理事一覧表

	氏 名	卒業年次		氏 名	卒業年次		氏 名	卒業年次
会 長	◎ 三田村 俊 文	31	理 事	斉 藤 敏 機	37	理 事	白 崎 弘 康	48
副会長	◎ 三田村 久 治	24	"	山 本 正 敏	37	"	奥 山 義 治	49
"	◎ 堀 婦 佐子	30	"	手 塚 立 男	38	"	加 藤 明 之	49
"	◎ 岩 堀 真理子	35	"	谷 尾 清 隆	39	"	岡 田 武 廣	50
"	◎ 河 合 敏 一	36	"	上野谷 憲 示	40	"	田 中 康 和	50
"	◎ 五十嵐 義 和	40	"	橋 本 和 雄	40定	"	加 藤 団 秀	51
会 計	◎ 山 田 洋 三	35	"	石 田 正 人	41	"	河 嶋 衛	51
監 事	◎ 河 嶋 和 子	20	"	清 水 花 子	41	"	松 浦 宏 由	51
"	◎ 鎌 谷 慶 昭	32	"	玉 村 一 男	42	"	飯 田 賢 幸	52
理 事	斎 藤 君 枝	16	"	大 平 昌 宏	42	"	賀 川 典 明	52
"	安 本 俊 子	22	"	松 井 透	43	"	◎ 田 中 大 成	53
"	吉 田 陽 子	22	"	満 月 広 昭	43	"	長谷川 和 弘	53
"	◎ 成 田 幸 恵	27	"	井 上 和 治	44	"	上 野 浩 一	54
"	岸 本 輝 夫	28分	"	杉 本 はじめ	44	"	野 田 義 弘	54
"	月 岡 照 晴	29	"	◎ 笠 原 章	45	"	坂 口 順 一	55
"	川 口 忠 治	29分	"	上 木 義 晴	45	"	平 山 勝 康	55
"	◎ 吉 田 勉	31	"	栗 塚 俊 夫	46	"	河 野 真 一	56
"	桜 井 俊 之	32	"	藤 木 茂 之	46	"	奈 良 俊 幸	56
"	◎ 堀 川 利 彦	32	"	吉 田 津 義	47	"	加 藤 幸 紀	57
"	小 川 康 子	33	"	五十嵐 公 二	47	"	村 上 栄 樹	57
"	増 沢 幸 雄	33	"	宗 近 博 之	47	"	帰 山 明 朗	58
"	上 木 力 夫	34定	"	◎ 斎 藤 真理子	48	"	時 田 和 一良	58
"	◎ 香 川 克 子	37	"	三 村 昌 之	48	"	宮 本 俊	58

◎は常任理事

各支部

顧問

事務局

	氏 名	卒業年次		氏 名	卒業年次		氏 名	卒業年次
関東支部	◎ 田 中 節 夫	37	学 校 長	川 村 一 実		書 記 会 計	友 永 幸 四 郎	48
関西支部	◎ 武 田 道 雄	30	教 頭 (全 日 制)	花 川 洋 介		書 記	山 本 真 司	56
石川県支部	◎ 江 端 義 幸	44	教 頭 (定 時 制)	長谷川 正 克	50	調 査	水 野 敏 博	H02
			教 頭 (分 校)	佐々木 栄 秀	52	会 計	野 坂 陽 子	

◎は常任理事

校内理事

分 担	氏 名	卒業年次	分 担	氏 名	卒業年次	分 担	氏 名	卒業年次
調 査	高 原 正 典	45	調 査	斎 藤 正 純	57	調 査	佐 野 明 彦	H 04
"	庄 司 富 子	44	"	橋 本 貴 芳	57	"	仲 谷 涉	H 05
"	堀 直 樹	46	"	野 坂 陽 一	58	"	高 芝 和 紀	H 07
"	森 長 淑 子	52	"	酒 井 龍 弥	59	"	松 田 充 弘	H 08
"	中 山 孝 士	54	"	松 浦 正 樹	59	"	鈴 木 聡 史	H 11
"	中 野 守	54	"	嶺 山 秀 法	60	"	青 山 真 弓	H 11
"	水 嶋 勝 彦	56	"	飯 田 善 一	H 01			
"	飯 田 俊 幸	57	"	松 原 弘 和	H 04			

平成22年度 事業計画 (案)

平成22年

- | | |
|------------|----------------|
| 4月14日 (水) | 会計監査 |
| 4月23日 (金) | 第1回同窓会理事会及び懇親会 |
| 5月22日 (土) | 平成22年度同窓会総会 |
| 7月 8日 (木) | 「先輩と語ろう会」 |
| 8月 1日 (日) | 第43回松柳会総会 |
| 10月29日 (金) | 第2回同窓会理事会及び懇親会 |

平成23年

- | | |
|-----------|----------------|
| 3月 2日 (水) | 本校卒業式、同窓会入会式 |
| 3日 (木) | 定時制卒業式、同窓会入会式 |
| 4日 (金) | 池田分校卒業式、同窓会入会式 |

- | | | |
|-----|---------|-----------|
| 各支部 | 関東支部総会 | 6月27日 (日) |
| | 石川県支部総会 | 9月頃実施予定 |

平成 22 年度 武生高等学校同窓会 予 算 書 (案)

(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

一般会計

【 収 入 】

単位：円

項 目	22 年度予算	備 考
繰 越 金	911,896	前年度繰越金
入 会 金	1,185,000	全日 334、分校 16、定時 45 (1 名 3,000 円)
雑 収 入	3,000	利息等
合 計	2,099,896	

【 支 出 】

項 目	22 年度予算	備 考
会 議 費	100,000	
旅 費	200,000	関東・石川支部総会、各支部来福旅費
消 耗 品 費	5,000	
通 信 費	80,000	電話料、郵送料、HP 年間維持管理料
慶 弔 費	20,000	
事 務 費	20,000	
支 部 補 助 費	310,500	関東10万 石川3万 松柳会10万 関西5万 池田@500 定時@500
母 校 振 興 費	100,000	武生高校紹介用諸費用
積 立 金	600,000	特別会計(定期預金)へ
予 備 費	664,396	記念会館補助等
合 計	2,099,896	

※ 款項目の流用は理事会にご一任ください

武生高等学校同窓会会則

第1章 総 則

- 第1条 本会は福井県立武生高等学校同窓会と称する。
- 第2条 本会の事務局は福井県立武生高等学校内に置く。
- 第3条 本会は地域あるいは職域ごとに支部を設けることができる。

第2章 目的及び事業

- 第4条 本会は会員相互の親睦をはかり、併せて母校の発展に寄与することを目的とする。
- 第5条 本会は前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
1. 会員名簿及び会報の発行
 2. 母校の教育向上のための協力
 3. その他前条の目的を達成するための事業

第3章 会 員

- 第6条 本会の会員は正会員と特別会員の2種からなり、それぞれに該当するものは下記のとおりである。

- 正 会 員
1. 旧武生中学校の卒業生
 2. 旧武生高等女学校と旧町立武生高等女学校の卒業生
 3. 旧武生高等学校併設中学校の卒業生
 4. 武生高等学校の卒業生
 5. 前各項に掲げる学校に在学した者で、本会の承認をえた者
- 特別会員
1. 旧武生中学校の職員
 2. 旧武生高等女学校と旧町立武生高等女学校の職員
 3. 旧武生高等学校併設中学校の職員
 4. 武生高等学校の旧職員及び現職員

第4章 役員及び顧問

- 第7条 本会に次の役員を置く。
1. 会 長 1名
 2. 副 会 長 5名
 3. 常任理事 若干名
 4. 理 事 若干名
 5. 会 計 1名
 6. 監 事 2名
 7. 顧 問 若干名

- 第8条 役員を選任は次の通り行う。
1. 会長、副会長は正会員の中から総会で選出する。
 2. 常任理事は理事の中から卒業年次を考慮して選り、また分校と定時制の理事を含めて会長が委嘱する。
 3. 理事は卒業年次ごとに1～2名を会長が委嘱し、また会長が特別に委嘱することもできる。
 4. 監事は理事の中から会長が委嘱する。
 5. 顧問は理事会、総会の承認を経て会長が委嘱する。ただし、武生高等学校長及び教頭は顧問に就任する。

- 第9条
1. 会長は本会を代表し、会務を統轄する。
 2. 副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時はその職務を代行する。また会務（財務、総会、会報、名簿など）に分担して参与する。
 3. 常任理事は会長、副会長を補佐して、事業の立案や運営にあたる。
 4. 理事は本会の事業の立案や実行に参与する。
 5. 監事は会計及び資産状況を監査する。
 6. 顧問は会長の諮問に応じ、本会の運営に参与する。

- 第10条 役員任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

第5章 会 議

- 第11条 本会の会議を分けて、総会、理事会、常任理事会とし、いずれも会長がこれを招集する。
- 第12条 総会は本会の最高決議機関で毎年1回開催する。ただし会長が必要と認めたときは臨時に開くことができる。司会は出席者の中から選ぶ。
- 第13条 総会で審議する事項は、次の通りである。
1. 会長、副会長の選出
 2. 常任理事・理事・会計及び監事・顧問の承認
 3. 決算及び会務・事業報告
 4. 予算案及び事業計画案
 5. その他の必要な事項
- 第14条 議決は出席者の過半数の賛成を必要とする。
- 第15条 理事会は会長が必要と認めたときに開催する。ただし理事総数の3分の1以上の出席者がいなければ成立しない。理事会の審議事項は、次の通りである。
1. 総会に付議すべき事項
 2. その他の必要な事項

第6章 会計及び資産

- 第16条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。
- 第17条 本会の経費は入会金、寄付金等をもってこれに充てる。ただし会報の発行については、会報購読料を徴収してこれに充てる。
- 第18条 本会の入会金は3,000円とする。
- 第19条 本会の基本資産は、総会の承認をえずに消費し、また担保に供してはならない。

第7章 会則の変更

- 第20条 本会則は理事会の承認を経て、議会の議決をえれば改正することができる。

第8章 補 則

- 第21条 本会則は平成6年4月1日に改正し、即日これを施行する。

講師紹介

☆加藤和夫

しもなかつはら
越前市下中津原町生まれ

武生高等学校卒業（昭和48年）、福井大学教育学部卒業、東京都立大学大学院修了
東京都立大学人文学部助手、和洋女子短期大学講師・助教授を経て1991年（平成3年）4月金沢大学教育学部助教授、2002年（平成14年）4月金沢大学教育学部教授、2008年（平成20年）4月より金沢大学人間社会学域国際学類教授

専門：日本語学（方言学・社会言語学）

主な著書：『どうなる日本のことば—方言と共通語のゆくえ—』（共著 大修館書店 1999）、『お国ことばを知る 方言の地図帳』（共著 小学館 2002）、『新 頑張りまっし金沢ことば』（監修 北國新聞社 2005）、『みんなの日本語事典』（共著 明治書院 2009）、『都道府県別 全国方言辞典』（共著 三省堂 2009）など

武生高等学校 吹奏楽部 紹介

1965年（昭和40年）に創部。本年は創部45年目に当たる。これまで県代表として「全日本吹奏楽コンクール北陸大会」に通算19回（15年連続、金賞9回）、「全日本アンサンブルコンテスト北陸大会」に通算22チーム（金賞10回）、「中部日本吹奏楽コンクール本大会」に通算9回（優勝7回、うち神納杯3回）の出場をしている。1998年（平成10年）に県高等学校文化連盟より奨励賞を受賞する。

本年度は、正顧問1名と副顧問3名の下、55名の部員（1年30名、2年25名）が所属していますが、本日は、新しく1、2年生のみによって組まれた新メンバーでの初舞台です。どうぞ、よろしくお願ひします。

<歴代正顧問> 尾鳥小兵衛（1965～68年度）、尾谷誠（1969～81年度）、柴田嘉一（1982～86年度）、清水逸之（1987～93年度）、浅井裕規（1987～98年度）、安藤進（1993～2005年度）、笠島仁昭（1994～2004年度）、三上明寛（1998～2002年度）、鈴木千文（2006～2008年度）、佐野明彦（1999年度、2008年度～現在）

松原正樹スペシャルバンド 紹介

ギター 松原 正樹（昭和48年卒業）
キーボード 南部 昌江（特別出演）
ギター 能勢淳一郎（昭和48年卒業）

☆松原正樹

日本を代表するセッションギタリスト。松任谷由実、吉田拓郎、松山千春、今井美樹、さだまさし、松田聖子など、数多くのミュージシャンたちの楽曲にギタリストとして参加したり共演したりしている。「Humarhythm」「流宇夢サンド」をはじめ多くのアルバムもリリース。「心に届く音作り」を心がけている。

南部昌江さんは彼の奥さんで、プロのキーボード奏者として活躍している。

平成22年度武生高等学校同窓会総会実行委員会 (昭和48年卒業)

委員長	三村 昌之(10組)		副委員長	白崎 弘康(10組) 斎藤真理子(6組)	
企画	橋本 敬子(5組) 門前 淳子(6組)		パーティー	岩崎 保(10組) 三津谷和司(7組)	
二次会	深沢浩一郎(10組) 金井 純子(井上) (5組)		会計	福田 善行(9組) 田中 規子(山方) (9組) 宮本 恵子(9組)	
事務局	三好 栄(10組) 小谷 貴執(1組) 笹尾 昌敬(6組) 奥村 俊海(7組) 幸道 隆治(10組) 友永幸四郎(進士)(10組)				
クラス委員	1組	◎高橋 一郎 木下 知宏 林 香子(小島)	○宇野 圭子(斉藤) 杉浦 滋 堀 香寿子(田畑)	嵐 多喜美 宅間 尚子(小形) 山田 則子	
	2組	◎佐々木紀久雄 覚明 道夫 島崎 順子 山口 紀子(白崎)	○桶谷 満 栗山 祐子(禿氏) 布川 幸三 若泉 恵子(田島)	奥田 健雄 左近 政裕 福田左知代(斉藤)	
	3組	◎伊井 礼子(酒井) 岡田 憲子(水野) 谷川 尚子 前田 宏美(大滝)	○森陰美津江(白崎) 小形嘉代子(上田) 為沢 裕子(梶谷)	石田 裕美 竹内美智江(山口) 福岡 純子	
	4組	◎上田裕紀子(沢) 市川さち子(吉村) 神戸 量子(波多野) 野口久美子(宇野)	○加藤美津子(武藤) 大久保由美子(福岡) 澤崎 郁子(牧野)	赤星 仁美(牧野) 大森れい子 谷口 淳子(清水)	
	5組	◎能勢淳一郎 梅田 恵子 永田 康弘	○榎 泰章 佐々木隆興 三田村嘉則	青山 勇二 滝波 栄子(赤松)	
	6組	◎高橋幸四郎 三田村淳市	○佐々木祐子(高橋) 皆川まり子(田中)	池田 博之 山本 忠和	
	7組	◎上木 克己 笠島 良一 小西 一芳 山岸 守	○古川 則男 木村 嘉春 竹内 幹男	内田 嘉寛 窪田 慎治 宮本 信一	
	8組	◎中村 栄治	○転法輪 信	武内 一郎	
	9組	◎間所 英樹 岡本 和江(佐々木) 庭本 則子(福岡)	○若泉 栄子(宮脇) 落合 陽子(高田)	延々百合子(西川) 小鍛冶晴美(出村)	
	10組	◎加藤 泰雄 清水 敏行	○加藤 良司 城戸 廣之	齋藤 博行	